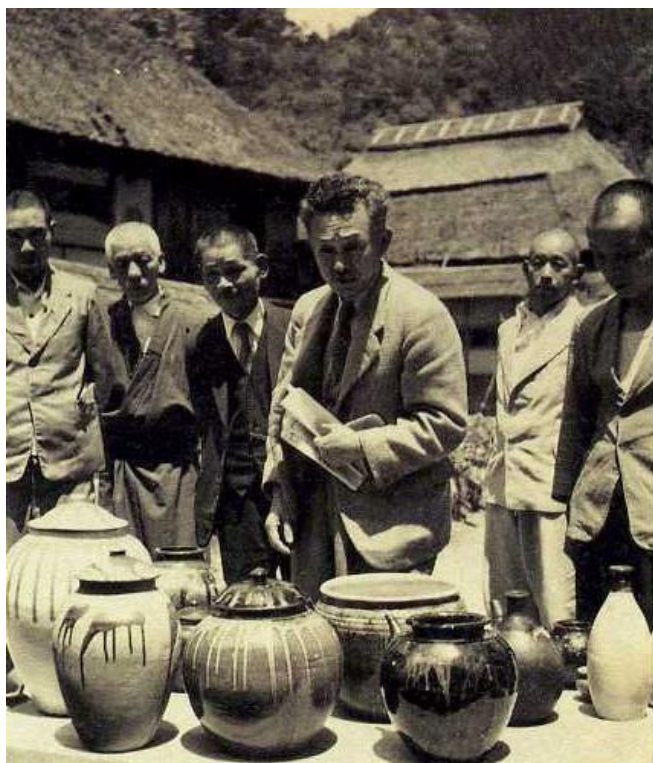


北海道立文学館 特別展「『手仕事の日本』と民藝の思想」関連事業

講座「『手仕事の日本』のころ」

柳宗悦（1889～1961）は、無名の職人の手仕事による民衆の暮らしの道具に美を発見し、この美しさをもつ品を「民藝」と名付けました。本講座では民藝思想の成立背景や、手仕事の品を作りだした人々の暮らし、展覧会の見どころ、現代における民藝の意義まで、当時の貴重な写真とともに専門家が解説します。

講師：三浦正宏氏（秋田・海青舎代表 本展企画協力）



資料提供 日本民藝館
大分・小鹿田（おんた）で焼物を調査する柳宗悦 昭和26年



製縄工場へ向かう子供たち 昭和28年
撮影 井上一郎（旧秋田県大曲市）

2月4日(土) 14:00～15:00

北海道立文学館 地階講堂

定員 60名 聴講無料

1月4日(水)より電話にて受付

Tel. 011-511-7655

当日 10 時より、民藝品の文様をデザインしたオリジナルクッキーを販売します。
(1 パック 200 円、60 パック限定、売り切れ次第終了。協力:のさき家)

特別展「『手仕事の日本』と民藝の思想」(2月4日[土]～3月26日[日])

主催：北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館（北海道立文学館指定管理者）、北海道新聞社

企画協力：海青舎 後援：北海道、札幌市・札幌市教育委員会

《中島公園》北海道立文学館 〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-4

施設設置者：北海道教育委員会 指定管理者：公益財団法人北海道文学館

応募者の個人情報とは本事業以外には使用いたしません